

認 定 書

国 住 参 建 第 1018 号
令 和 8 年 7 月 3 日

因幡電機産業株式会社
代表取締役社長 玉垣 雅之 様

国土交通大臣 金子 恭之

下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第 129 条の 2 の 4 第 1 項第七号ハ（防火区画貫通部 1 時間遮炎性能）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
PS060WL-1266-1
2. 認定をした構造方法等の名称
被覆材付ポリエチレン管／化粧材付黒鉛含有ブチルゴムシート・シーリング
充てん／壁準耐火構造／貫通部分
3. 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。
令和 7 年 10 月 1 日より大臣印の押印が廃止されております。

別 添

1. 構造名：

被覆材付ポリエチレン管／化粧材付黒鉛含有ブチルゴムシート・シーリング充てん／壁準耐火構造／貫通部分

2. 寸法等の仕様：

寸法等の仕様を表1に示す。

表1 寸法等の仕様

項 目		仕 様
開口部	形状	円形(φ415mm以下)
	面積	0.1347m ² 以下
被覆材付配管と壁との隙間の寸法 (クリアランス)		8～32.5mm
占積率 (開口面積に対する被覆材付配管の断面積の 総合計の割合)		91.5%以下
貫通する壁の構造等		建築基準法施行令第112条第2項に掲げる基準に適合する壁構造(60分) 及び建築基準法第2条第七号の規定に基づく壁構造(60分) 厚さ 100mm以上

3. 主構成材料の仕様：

主構成材料の仕様を表2に、配管の仕様を表3に示す。

表2 主構成材料の仕様

項 目		仕 様	
熱膨張性 シート		材料	化粧材付黒鉛含有ブチルゴムシート
		寸法	総厚さ：6mm以上 幅：84mm以上(埋設部74mm以上)
		使用箇所	配管に1周以上巻き付け
	表面材 (充てん材側)	材料	アルミニウムテープ(裏張材：あり又はなし) 裏張材の材質：ポリオレフィン系又はガラス繊維系
		厚さ	0.25(±0.1)mm以下
	シート	材料	黒鉛含有ブチルゴムシート
		厚さ	6mm以上
		密度	
		組成 (質量%)	
	裏面材 (配管側)	材料	仕様：あり又はなし 種類：①～⑦の一 ①ポリオレフィン系樹脂 ②ポリエステル系樹脂 ③塩化ビニル系樹脂 ④シリコン系樹脂 ⑤ナイロン系樹脂 ⑥不織布 ⑦アルミガラスクロス
		厚さ	0.05(±0.03)mm以下
充てん材	材料	建築用シーリング材(JIS A 5758) 種類：シリコン系	
	充てん量	被覆材付配管と躯体(壁)との隙間に密に充てん (壁の両側に22mm以上)	

表3 配管の仕様

項 目		仕 様				
配管	ポリエチレン管 (JIS K 6761、JIS K 6762、JIS K 6774、ISO 4427、日本水道協会規格：JWWA K 144、建築設備用ポリエチレンパイプシステム研究会規格：PWA001、PWA005、配水用ポリエチレンパイプシステム協会規格：PTC K 03、給水用ポリエチレンパイプ協会規格：JP K 001、JP K 002、JP K 003)		外径	φ 250mm 以下	厚さ	22.7mm以下
被覆材 (後付タイプ)	材料	表面材付被覆材				
	外径	φ 350mm以下(仕上がり外径)				
	使用方法	配管に 1 周以上巻き付けて使用 (突合せ又はオーバーラップ) (シート状タイプ又は筒状タイプ)				
	表面材	材料	仕様：あり又はなし ①～③の一 ①アルミニウムはく張クラフト紙 ②アルミニウムはく張割布 ③アルミニウムはく張ガラスクロス			
		厚さ	0.2mm以下			
	基材	材料	①～④の一 ①グラスウール (JIS A 9504) ②ロックウール (JIS A 9504) ③アルカリアースシリケートウール (AES) ④リフラクトリーセラミックファイバー (RCF)			
		厚さ	25～50mm			
		密度	24kg/m ³ 以上			

4. 副構成材料の仕様：

副構成材料の仕様を表4に示す。

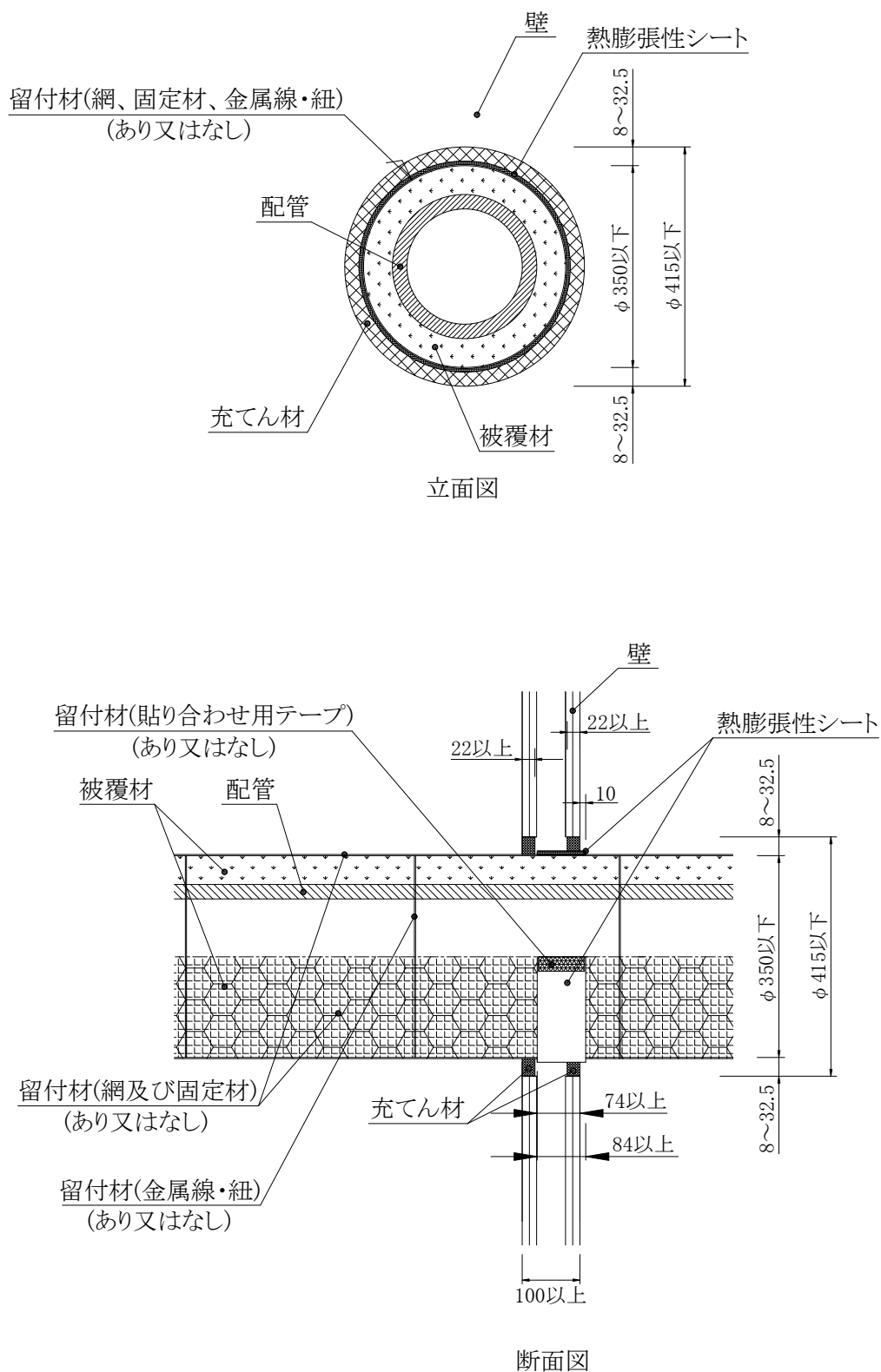
表4 副構成材料の仕様

項 目		仕 様	
留付材	金属線・紐	材料	仕様：あり又はなし ①～⑥の一 ①銅製 ②鉄製(塩化ビニル樹脂被覆付鉄線を含む) ③鋼製(鋼板製を含む) ④ステンレス製 ⑤樹脂製(ポリオレフィン樹脂系) ⑥綿
		寸法	①～④：φ0.29mm以上 ⑤及び⑥：φ4mm以下
		使用箇所	被覆材表面の固定に使用
	網	材料	仕様：あり又はなし ①～⑤の一 ①銅製 ②鉄製(塩化ビニル樹脂被覆付鉄線を含む) ③鋼製(鋼板製を含む) ④ステンレス製 ⑤樹脂製(ポリオレフィン樹脂系)
		寸法	①～④：φ0.29mm以上 ⑤：φ2.2mm以下
		使用箇所	被覆材表面の固定に使用
	固定材	材料	仕様：あり又はなし ①～⑤の一 ①銅製 ②鉄製(塩化ビニル樹脂被覆付鉄線を含む) ③鋼製(鋼板製を含む) ④ステンレス製 ⑤樹脂製(ポリアミド樹脂系)
		使用箇所	網表面の固定に使用
	貼り合わせ用テープ	材料	仕様：あり又はなし ①～⑥の一 ①ポリオレフィン系 ②ポリエステル系 ③ポリ塩化ビニル系 ④紙 ⑤アルミニウム系 ⑥アルミガラスクロス
		寸法	①～④ 厚さ：0.2mm以下、幅：50mm以下 ⑤、⑥ 厚さ：0.15mm以上、幅：50mm以上
		使用方法	必要に応じて、熱膨張性シート及び被覆材の固定に使用

5. 構造説明図：

構造説明図を図1及び図2に示す。

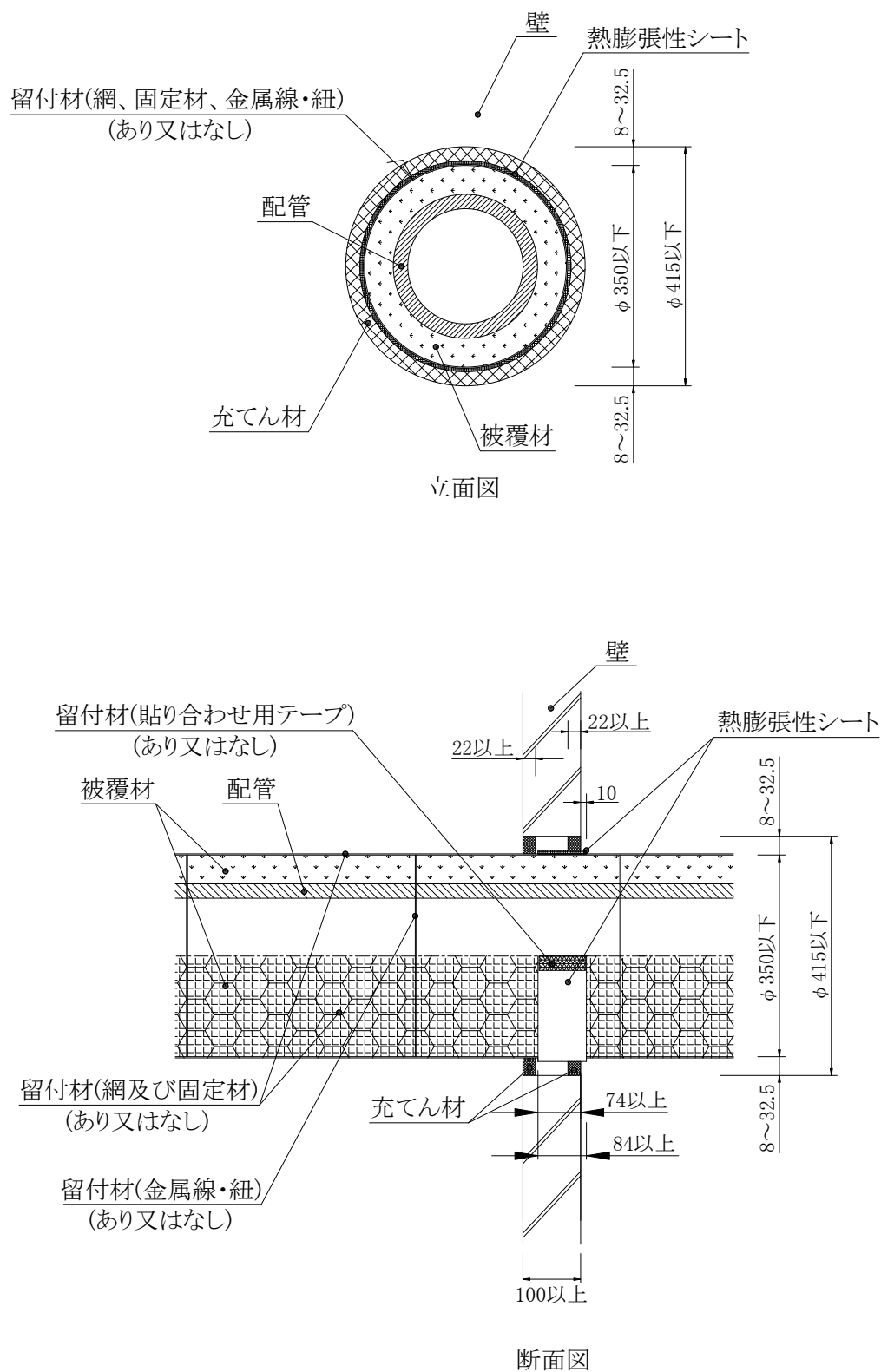
単位 mm



注)中空壁の場合

図1 構造説明図 (施工図)

単位 mm



注)中空壁以外の壁の場合

図2 構造説明図

6. 施工方法：

施工は以下の手順で行う。

- (1) 貫通開口部の設定
被覆材仕様、配管寸法及び占積率等を考慮して貫通開口部を設ける。
- (2) 被覆材付配管の設置
被覆材付配管の設置を行い、支持・固定する。
- (3) 熱膨張性シートの巻き付け
熱膨張性シートを被覆材付配管に対して1周以上巻き付けて貼り合わせ用テープにて固定する。
また、熱膨張性シートの長さが足りない場合はすき間が生じないように貼り合わせ用テープでつなげても良い。※熱膨張性シートと被覆材付配管の間にすき間が生じないように注意する。
- (4) 熱膨張性シートの位置
熱膨張性シートの先端が壁面から10mm突き出るように設置する。
必要に応じて被覆材付配管と熱膨張性シートを貼り合わせ用テープで留付けても良い。
- (5) 埋め戻し
開口部と被覆材付配管のすき間となる、壁の両側に22mm以上充てん材を密に充填する。

注意事項

被覆材(基材)に使用される、アルカリアースシリケートウール(AES)は、要求耐火性能時間に応じて加熱線収縮率3%以下であることが確認されたものとする。